エッジサーバ同士の連結(Edge-to-edge chaining)

説明

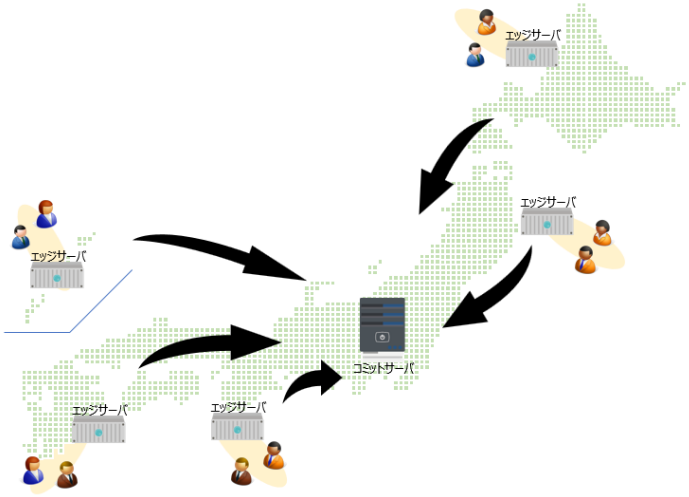
Perforce Helix Core 2019.1ではエッジサーバを直列に構成することが可能となりました。
分散環境間で地理的に離れた場所にあるコミットサーバからファイルやメタデータを取得するのではなく、近くのエッジサーバからファイルやメタデータを取得することができます。これにより、マスターサーバへの負荷も軽減されます。

エッジサーバが連結されている状態で複製されるメタデータをフィルタリングすることもできます。

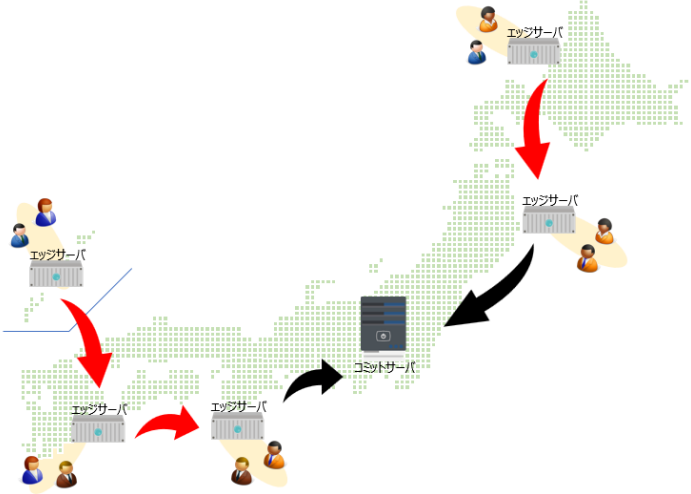
> **参照ページ**
>
> ・「Helix Coreサーバ管理者ガイド: マルチサイト展開」- エッジサーバ同士の連結
> ・「Helix Coreサーバ管理者ガイド: マルチサイト展開」- 複製処理の実行中またはエッジサーバが連結されている状態でメタデータをフィルタリングする
> ・「Helix Core P4コマンドリファレンス」- P4TARGET

■ イメージ図

【これまで】



【エッジサーバ連結】



手順

1. 各サーバに対し、"P4TARGET"で内部(コミットサーバ側)で一番近いサーバを設定します。

2. コミットサーバに近い全てのサーバに対してサービスユーザを使用したチケットベース認証を設定します。

